

上原勇作 ウヘノモリ 陸軍軍人。安政二年十一月九日河國生れ、昭和八年十一月八日歿（六六―一九三三）。舊姓龍岡。陸軍士官學校卒。明治十四年フランスに留學して工兵技術を導入、二十四年上兵監。四十五年陸相就任と、一個師團増設と強硬主張として單獨辭任、政變の因を起した。大正二年教育總監、翌年大將、參謀總長、十年元帥。子爵。

著書 『國と女』（井澤登一編、大正十年十一月二十日日本家政協會）。

神戸雄一作 『工兵の父―上原勇作傳』（昭和十八年二月二十日新風亞

社）刊。

